

都市再生整備計画 事後評価シート
旧勝山城下周辺地区(第3期)

令和2年3月

福井県 勝山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福井県		市町村名	勝山市		地区名	旧勝山城下周辺地区(3期)			面積	362ha	
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和1年度		交付対象事業費	1,050百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(消雪設備、東御門橋(都)本丸線)、公園(中央公園)、地域生活基盤施設(三角広場(仮)ほか整備)、高質空間形成施設((都)元禄線整備、発電機モニュメント)									
		提案事業	地域創造支援事業(歴史的まちなみ景観創出事業補助)、事業活用調査(事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(まちづくり講演、先進地視察)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし					削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	なし					-		-		
新たに追加した事業	基幹事業	道路(アクセス道路)、公園(かつやま恐竜の森)、高次都市施設(観光交流センター)	・「かつやま恐竜の森」の来訪者をまちなかに誘導するための事業の追加				・中心市街地への誘客増が期待できるため指標1を上方修正					
	提案事業	地域創造支援事業(シャトルバス運行業務)	・「かつやま恐竜の森」の来訪者をまちなかに誘導するための事業の追加				・中心市街地への誘客増が期待できるため指標1を上方修正					
交付期間の変更	当初変更	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	ゆめおーれ勝山来客数	人/年	111,785	H24	130,000	H30	76,002	×	あり	・まちなかの回遊を促進する環境整備が、計画通りに完了しておらず、効果を十分に発揮できていない。 ・恐竜博物館の来館者は増加傾向にあるものの、客層の違いからゆめおーれの来館に直結することが出来なかった。また開館から10周年を迎え開館当初、興味を持って来てくださった方がリピーターとなりえなかった。	-
	指標2	景観補助申請数	件	47	H24	62	H30	53	×	あり	・申請数が活発であったH21年の実績(年間9件)を踏まえ目標値を設定したが、ピークであったH21年以降は右肩下がりで推移したことから目標達成出来なかった。 ・一方、このような取り組みが、まちなみ景観に係る地域住民の関心や意識を高めているほか、旧勝山城下の街並み景観が構成文化財の1つとして、日本遺産に認定された。	-
指標3	中心市街地の居住者人口	人/年	2,469	H24	2,400	H30	2,219	△	あり	・居住者人口の減少抑制に向けた様々な取り組みが少しずつ効果を発揮し、全市人口の減少率が悪化する中、本地区の減少率は、第2期計画期間のトレンド推計よりも改善している。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	恐竜博物館来訪者数	人/年	708,320	H25	/	/	938,310	B	/	・ピーク時の来訪者数に対応した駐車場整備により、渋滞等に伴う入園遅延が緩和されたことが、来訪者数の増加に繋がったと考えられる。	-
その他の数値指標2	勝山駅乗客人員(定期外)	人/年	51,836	H25	/	/	84,339	A	/	・えちぜん鉄道勝山駅と恐竜博物館を直結するシャトルバスの運行により、広域からの公共交通によるアクセス性が飛躍的に向上したことが、恐竜博物館・かつやま恐竜の森の来訪者数や勝山駅の乗客人員(定期外=観光利用)の増加に繋がったと考えられる。	-	
その他の数値指標3	まちなかジオツアー参加者数	人/年	166	H29	/	/	292	A	/	・本町通りを中心とした伝統的民家の継続的な景観整備等が、まちなかジオツアー参加者の増加に繋がったと考えられる。	-	
4)定性的な効果発現状況	なし											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	・都市再生整備計画に記載しておらず、実施していない。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
	住民参加プロセス	・まちなか整備推進会議 ・勝山市歴史的まちなみ景観創出事業			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・今後のまちづくりについて、官民連携で検討を行い、市民ニーズに応じた環境整備を推進する。			
持続的なまちづくり体制の構築	・花月楼やかつやま恐竜の森に整備した観光交流センターの運営			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・勝山市観光まちづくり株式会社の主体的な活動を支援し、観光の産業化を推進する。				

様式2-2 地区の概要

旧勝山山下周辺地区(福井県勝山市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：歴史的まち並みや伝統行事が息づくまちなかを活性化し、にぎわいのある中心市街地の創出		ゆめおれ勝山来客数	人/年	111,785	H24	130,000	H30	76,002	H30
目標1 自然遺産、歴史・文化遺産、産業遺産を活かし、広域的な観光と結びつけ、中心市街地の再生を図る中で、来訪者をまちなかに誘導し、にぎわいを創出する。		景観補助申請数(累計)	件	47	H24	62	H30	53	H30
目標2 歩いて暮らせるまちづくりを推進し、生活文化を活かしたまちなか居住の推進を図る。		中心市街地の居住者人口	人/年	2,469	H24	2,400	H30	2,219	H30
①長尾総合公園 (基幹事業：公園) ①-1 第2駐車場整備 ②アクセス道路2車線化整備 (基幹事業：公園) ③観光交流センター (基幹事業：高次都市施設)		①-2 園内道路2車線化整備 ①-3 化石発掘体験場トイレ		④発電機モニュメント (基幹事業：高質空間形成施設)		⑤東御門橋整備(都) 本丸線 (基幹事業：道路)		⑧消雪整備工事 (基幹事業：道路)	
⑨市民活動センター跡地整備 (基幹事業：地域生活基盤施設)		⑩(都)元禄線整備・舗装高質化 (基幹事業：地域生活基盤施設)							
まちの課題の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・モニュメント等の設置や歴史的まちなみ景観補助制度による街並み整備等により、回遊・交流の動機づけとなる環境が形成されつつある。 ・まちなみ整備に係る取り組みを継続的に実施してきた結果、まちなみ景観に係る地域住民の関心や意識が高まっている。 ・まちなかの生活道路を中心に消雪装置を面的に整備したことで、冬期間における生活環境の改善が図られ、常住人口の減少が抑制された。 ・長尾山総合公園の整備等により、かつやま恐竜の森を訪れる来訪者が増加したほか、観光交流センターに観光案内所等を設けたことで、かつやま恐竜の森を訪れる来訪者をまちなかの観光拠点に誘導した。 		今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)		<ul style="list-style-type: none"> ・まちなみ景観等に関する市民意識の更なる醸成と、市民や来訪者等の回遊・交流を促進する地域資源を活かしたまちなか散策の魅力づくり(まちなみ景観整備に係る継続的な支援、公園・回遊軸等の更なる整備、民間事業者との連携による織維等の地域資源をテーマとしたまちなか散策を楽しむかけづくり等)。 ・これまでの取組みを市民にアピールし、「まちなか」に対する市民の誇り、愛着を醸成する他、創り上げたものを官民が連携・協働し活用していく取組みの推進(イベント等の継続的な開催等)。 ・観光の産業化に向けて、通過型観光から滞在型観光へシフトするための滞在拠点となる宿泊施設等の誘致。 ・新たな観光拠点(道の駅「恐竜渓谷かつやま」)の整備(魅力ある施設にするための事業展開)や、三拠点(道の駅、かつやま恐竜の森、まちなか)の連携促進、相互の観光情報発信の機能強化、新たな魅力づくり。 ・かつやま恐竜の森を訪れる来訪者をまちなかへ誘導するため、まちなか観光に係る情報発信の機能強化。 ・既存の公共交通を「観光客の足」とするための環境整備。 ・まちなかの定住環境を高める公園・広場等の整備や、勝山市立地適正化計画に基づく定住促進施策(消雪施設整備、屋根融雪設備や雪害住宅に係る支援、高齢者等が歩きやすい歩行者空間の整備等)の推進。 					